

北海道熊研究会 会報 第 123 号 2023 年 11 月 19 日

【創刊 2013 年 1 月 25 日】

北海道熊研究会事務局 北海道野生動物研究所

代表 門崎 允昭

事務局長 Peter Nichols ピーターニコルス氏

幹事長 藤田 弘志 氏

Tel 011-892-1057

- ご意見ご連絡は、下記の email へお願い致します
E-mail: kadosaki@pop21.odn.ne.jp
- 会報の 1～118 号以前の号は Website に「北海道野生動物研究所」と入力し、
ご覧下さい。
- 「北海道熊研究会」の Facebook と Twitter の編集は横山敬子氏が当たります
Facebook : <https://www.facebook.com/HokkaidoBearResearchAssociation>
- 「北海道熊研究会」Hokkaido Bear Research Association の活動目的
熊の実像について調査研究し、それを啓発する事です。

私（門崎允昭）の**罽に関する基本姿勢**は人的経済的被害を予

防しつつ、極力罽は殺すべきでないという立場です。

理由：

この**大地は総ての生き物の共有物**であり、生物間での食物連鎖の宿命と疾病原因生物以外については、この地球上に生を受けたものは生有る限りお互いの存在を容認しようと言う生物倫理(生物の一員として、他種生物に対して、人が為すべき正しき道に基づく理念による。

<本号のお知らせ>

北海道で発生した罽に人が食われた 2 件の原因とその正しい予防策についてお話しします。

まず、熊類は動物分類学で食肉目(ライオン、トラ、等)に属し

人を食べ物として、襲い喰う事が有るのです。=これは、自然の摂理として、異常な行為ではないのです。

故に、それを防ぐ準備=武器=鉞が最適。=熊は(罽も月輪熊も)は人を襲う時、抱きついて襲うので、柄が長い刃物は不適です。

アイヌはタシロ(鉞と同じ刃物)と、それより、少し小形のマキリ(小形の鉞)を、熊に襲われた場合の、武器として左右の腰に分けて着けて、隣の家に行く場合でも、常に携帯していたといえます(萱野;アイヌの民具 P.25-27)。

アイヌが武器を左右の腰に携帯したのは、熊に抱きつかれた状態で襲われた時に、左右いずれかの武器を腰から手で引き出し、熊に反撃するためであったといえます。

熊は刃物で反撃されて、少しでも血が出るような傷を受け

ると、人を攻撃する事を止めるのです。

それ故、私が皆さんに推奨し、実行して戴きたい事は、熊が居るような場所に、行く場合には、先ず「ホイッスル」と「鉦」を携帯する事を、実行して下さい。**鈴やラジオは風や流水が強いと聞こえない故、不適です。**

熊除けガススプレーは、本気で人に襲い来る熊には全く無力です。熊はガスで吹きつけられていても、人を襲い続けるのです。

所で、熊が人を襲う「原因目的理由」は3項目あります。

その① 人を「**食べる目的**」で襲う事があります。

その② 人をその場から、「**排除するために**」襲う事があります。

その③ これは満2歳の熊に限られての事ですが、「**戯れ・や苛立ち**」から襲って来る事があります。

<今年（2023年11月15日時点）で

北海道で発生した熊に人が食われた

2件の事故について、話します>

① 5月14日に、西川俊宏さん54歳が、道北の朱鞠内湖の湖岸で、釣りに来ていて、熊に襲われ殺され、身体を多くを食べられたと言う事故。熊は西川さんを襲って、直ぐに身体を食害している事から、最初から、食べる目的に襲ったものです。

私は鉈を持って居て、反撃していれば、殺されずに生還し得た事象と見ている。

襲った熊は道のヒグマ対策室主幹の武田忠義さんに依ると、体長162cm、体重は推定120kg、歯の年輪検査で3歳の雄、手足の最大横幅は14.5cmだと言う。

熊に襲われ、身体を喰われた（頭などは残存と言う。遺体は15日に収容し、加害熊も付近で、同時に銃殺したと言う。

② 10月29日に、渡島管内の大千軒岳に登山に入った、北大生の屋名池奏人ヤイカトさん22歳が、熊に襲われ殺させ、
身体を喰われていた。

熊が襲った原因は、「食う為」です。理由は、襲って、直ぐに人体を喰いだしたと、推察されるからです。

鉈で応戦していれば、殺されずに生還し得た可能性があった事件です。

③、同じ大千軒岳に、10月31日に登山に入った渡島管内の消防署員（3人の勤務地は異なる）が熊が襲って来たので、山菜採り用の小刀で、熊に反撃、小刀が熊の喉元（？）に刺さった。熊は襲うのを止め、逃げたと言う。

こ熊は前記③と同じ個体である。襲った理由は、餌を保持し続ける為に、邪魔者として、排除するために襲って来たものである。

「山菜採り用の小刀」を、携帯していた事で、熊を撃退し得たのである。なお、この件では、ホイッスルと刃物を携帯していたと言う事で、見習うべき事象である。

(了)